

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 若竹会

<経営方針>

教育・保育施設として、就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）及び子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）並びに青森市幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年青森市条例第29号）及び青森市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例（平成26年青森市条例第28号）その他の関係法令を遵守し、教育及び福祉の向上に努め、地域に密着した教育・保育施設として、児童が伸び伸びと遊べる環境を整え、個人個人を尊重するより良い教育・保育を行っていく。

また、地域のセンター的役割を果たすため、父母の会、高齢者、小学生及び中高生を含めた地域との交流を図り、努めて施設を開放し、「明るく開かれた教育・保育施設」を目指す。

その他、地域の実態を踏まえ、延長、一時預かり、子育て支援、休日保育等を行い、利用しやすい教育・保育施設を目指す。

<園訓> 健康 ・ 明朗 ・ 誠実 ・ 協調

I 法人運営

1. 役員構成

理事長	工藤勝清	理事	佐藤公正
理事	高田 進	理事	工藤勝顯
理事	田中美穂子	理事	鹿内 隆
監事	中村哲雄	監事	由町 昇

2. 第三者委員

中村哲雄 ・ 由町 昇

3. 経営する事業

○幼保連携型認定こども園の経営

認定こども園名	所在地	定員	特別保育
こども園 瑞穂 (H28.4 事業開始)	青森市浪岡大字女鹿沢 字稲本85	1号 12名 2号 36名 3号 34名 (受入可能119%)	延長保育 休日保育
浪岡若葉こども園 (H30.4 事業開始)	青森市浪岡大字下十川 字扇田191-1	1号 6名 2号 30名 3号 20名 (受入可能108%)	延長保育・休日保育

○一時預かり事業の経営 (H21.6 : 届け出)

浪岡若葉こども園	一般型（非在園児）
こども園 瑞穂	幼稚園型（1号認定子ども）

○病児保育事業の経営

こども園 瑞穂 (H27.4 事業開始)	利用定員 1日3名 対象児童 0歳～小学3年生 受診し、医師の確認後利用。
-------------------------	--

4. 法人監事の監査会 (令和2年5月27日 午前9時～

令和2年5月28日 午前9時～ こども園 瑞穂 事務室)

監査報告：適・良好

5. 理事会開催状況

理事会					
開催日	議案	出席	開催日	議案	出席
R2.5.30 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・監事監査報告 ・令和元年度事業報告 決算報告 ・令和2年度5月補正予算 ・定時評議員会の招集 	理事 5名 監事 2名	R3.3.16 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度3月補正予算 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度当初予算 ・準職員就業規則改正 ・評議員会の招集 ・業務執行報告 	理事 5名 監事 2名
R3.1.25 理事全員の書面 による同意の意 思表示を得、監 事全員の意義を 述べない回答を 得て、決議の省 略による	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度1月補正予算 ・就業規則一部改正 (子の 看護休暇及び介護休暇) ・運営規程の一部改正 ・評議員会の招集 	理事 6名 監事 2名			

6. 評議員会開催状況

評議員会					
開催日	議案	出席	開催日	議案	出席
R2.6.17 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・監事による監査報告 ・令和元年度事業報告 ・令和元年度決算報告 ・定款変更 	5名 監事 2名	R2.3.25 (こども園 瑞穂)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度3月補正予算 ・R3年度事業計画 ・R3年度当初予算 	6名 監事 2名
R3.1.30 評議員全員の 書面による同 意の意思表示 を得て、決議の 省略による	<ul style="list-style-type: none"> ・1月補正予算 	7名 監事 2名			

7. 令和2年度青森市指導監査（青森市健康福祉政策課4名）

◇こども園 瑞穂 令和2年11月24日（午前9時30分～12時）

◇浪岡若葉こども園 令和2年11月24日（午後1時30分～4時）

<指摘事項>

○両園共に指導事項無し

8. 職員の状況 職員数42名（令和2年度）

○職員構成

区分	園長		主幹 保育教諭	保育教諭 (うちパート)	准看護師	栄養士・調理員 (うちパート)	事務・用務員 (うちパート)	計 (うちパート)
浪岡若葉こども園	1		1	16 (6)	1	2	3 (2)	24 (8)

※育児休業：保育教諭1名令和3年3月25日復職

区分	園長	副園長	主幹 保育教諭	保育教諭 (うちパート)	准看護師	栄養士 調理員	事務・用務員 (うちパート)	計 (うちパート)
こども園 瑞穂	1	1	1	20 (6)		2	2 (1)	27 (7)
病児保育事業				(保育士) (2)	1			3 (2)

※育児休業： 保育教諭1名 令和2年10月1日復職
パート保育教諭1名 令和2年10月12日復職

9. 職員の健康管理

職員の定期健康診断（6月29日実施）場所：こども園 瑞穂 園庭

青森県総合健診センター附属あおもり健康管理センター

○結果を受け、個人に伝え必要に応じ受診を進める。

10. 会議等

○職員会議：毎月（各園） ○ミーティング：毎週（各園）

○行事反省会：行事終了後又は職員会議（浪岡若葉こども園）

11. 職員研修

◆園内研修

	回数	内 容
浪岡若葉こども園	6回	<ul style="list-style-type: none"> ・職員としての心得 ・電話での対応 ・ヒヤリハットの事例 ・指導計画の確認事項と書き方について ・児童虐待防止について（対応の流れ、園対応の仕組み、留意点）確認 ・パソコン使用による記録方法の変更 ・自己チェックリストから見る、振り返り、改善点 ・園評価アンケートに対する保護者への対応 ・保護者へ向けた園内行事の伝え方を検討 ・3歳児男児、発達検査の結果を踏まえた対応方法 ・秋から冬にかけて通勤時の運転について ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための園のできる対応、改善 ・次年度の教育及び保育の全体的な計画案等の確認、指導計画案の記入
こども園 瑞穂	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対応について ・児童虐待の早期発見のために ・子どもの発達ポイント ・感染症について <p style="text-align: center;"><※感染症拡大防止より集まる回数と時間を抑えた></p>

◆外部研修参加状況

研修名	浪岡若葉こども園	こども園 瑞穂	備考
第1回教育・保育施設職員研修会		1	保育教諭
キャリアアップ研修会（5回）	3	5	主幹保育教諭・保育教諭
給食研修会	1	1	若葉園長・調理員
主任主幹保育者研修会	1	1	主幹保育教諭
施設長研修	1	1	園長
新規採用保育教諭研修会（6回）	1		保育教諭
新任保育教諭（2回）	1		保育教諭
カウンセリング研修会	1		保育教諭
スーパー保育者研修会	1		保育教諭
看護師の集い	1		准看護師

※多くの研修会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員の安全を考慮し、参加を見合わせる。

◆研修他

<浪岡若葉こども園>

青森市保育連合会役員 保育部会	園長
青森県保育連合会保育部員	園長
子育て広場（浪岡地区）	保育教諭1名

<こども園 瑞穂>

子育て広場（浪岡地区）	保育教諭1名
-------------	--------

※小学校関連の関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、中止若しくは欠席する。

1 2. 福祉サービスにおける苦情解決への取り組み

第三者委員会議の開催<令和2年5月27日>

第三者委員2名、各園の受付担当者及び責任者等の出席のもと、平成31年度の状況を報告し、状況の把握と今後へと繋げられるよう、話し合いを行う。

1 3. 自己評価の取り組み

<浪岡若葉こども園>

令和2年6月1日 実施 当年度における年間目標について

令和3年2月2日 実施 当年度における年間目標への自己評価・反省（園長コメント）

令和3年2月2日 実施 認定こども園の教育・保育について

対 象：保育教諭10名（パート保育教諭除く） ※1名産前産後休暇中により実施無し

令和3年2月2日 実施 1年の振り返り

対 象：全職員23名 ※1名産前産後休暇中により実施無し

<こども園 瑞穂>

令和2年12月1日 実施

対 象：教育・保育チェック⇒保育教諭等 21名

衛生管理チェック⇒調理員等 3名

《浪岡若葉こども園》

＜園訓・保育方針＞

健康・明朗・誠実・協調

- ・広々とした環境の中で一人一人の状況や発達過程を踏まえ、心身ともに健康な子どもに育つ。
- ・元気な挨拶をし、明るく元気に人との関わりを育む。
- ・他への真心と優しい心を持ち、素直な気持ちを育てる。
- ・豊富な体験により、自分の意思を表せる強い心が育つ。

＜提供する教育・保育の内容＞

- (1) 健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- (2) 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人との関わる力を養う。
- (3) 周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れて行こうとする力を養う。
- (4) 経験したことなど自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲を育て、言葉に対する感覚を養う。
- (5) 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

○児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	0	0	0	0	1	4	4	6	7	7	7	7	43
1歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
2歳児	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	6	6	85
満3歳(1号認定)	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	11
3歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
4歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
5歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
計	45	45	45	44	45	48	48	50	51	51	50	50	572

○健康管理

・健康診断

歯科健診	なみおか歯科矯正・こども歯科<柿崎 寛>	4月14日	10月16日
内科検診	田原小児科内科医院 <田原 悌>	4月15日	10月22日

※当日欠席した児童は、後日受診

- ・発育測定 毎月実施・記録・カウプ指数の算出
- ・感染症の予防、早期発見
- ・園児ひとり一人の発育発達の個人差に留意し、健康な生活習慣を身につけ、成長できるように取り組む。
- ・薬剤師による環境検査

6月23日：給食施設簡易検査（水質：適・食器洗浄度：残留でんぷん・適、
残留脂肪・不適、大腸菌群：適） 対応＝食器の洗浄方法の改善

7月 1日：照度検査（2部屋）良好な照度を確保している

7月21日：ダニアレルギー検査（2部屋）

<1部屋>良好レベル、<1部屋>>般家庭レベル

10月28日：照度検査（2部屋）良好な照度を確保している

2月27日：冬季環境検査（空気検査）良好な空気環境を保っている

※経時的に濃度が上昇するので園児移動や不在時に窓を開放し室内空気入れ替えを実施（感染予防）

○栄養管理

- ・日常の献立作成の栄養管理、荷重平均食料等、パソコンソフトによる給食事務
- ・両園の栄養士による協議
- ・家庭との連携の取れた無理のない離乳が進められた。
- ・アレルギー児童に対しては、それぞれの子どもに対応し、代替食・除去食・アレルギー対応食を行う。
- ・食育計画を立て、保育教諭と給食担当者が連携を取り、協力しながら進めた。
- ・毎月、給食会議で状況を報告し協議を行い、翌月に活かした目標に繋げた。

○安全管理

◇交通安全指導

月	実施内容
4月	・安全な登降園の仕方
5月	・道路の安全な歩き方
6月	・雨の日の安全な歩行の仕方 ・園外保育での安全な歩き方 ・小学校との連携
7月	・交通安全教室に参加する
8月	・宿泊保育での電車利用時の注意事項を学ぶ
9月	・チャイルドシート、シートベルト着用の必要性を知る・ドライバーへ安全運転の呼びかけ
10月	・踏切での注意事項
11月	・歩行訓練
12月	・交通安全祈願 ・軒下の危険性を知る。
1月	・冬期間の凍結、雪道の危険性を知り、正しい雪道歩行を知る・自分で身を守ることを知る。
2月	・服装、防寒具の必要性や危険性を知る
3月	・交通規則を守ることができたか再確認する。

- ・交通指導員による交通安全教室 7月1日（水）
- ・交通安全の呼び掛け（国道・川倉交差点）9月29日（火）
- ・青森南警察署員による交通安全指導 12月25日（金）

◇避難訓練

月日	想定	ねらい
4月17日 10:00	風水害・火災 (乳児保育室)	火災報知器の音を覚える。非常口の目印と位置を確認する。 防災頭巾のかぶり方を覚える。
5月20日 10:00	防火防災総合訓練 (ボイラー室)	避難訓練の大切さを知る。総合訓練の意味を伝える。 職員間の連携を確認する。
6月12日 10:00	不審者侵入 防犯訓練	「いかのおすし」の約束をする。 警察署員の方の指導を受ける。
6月19日 10:50	火災 (年長児保育室)	火災報知器が鳴ったら、保育士の下に集まり、静かに放送を聞く。 第2避難場所を覚える。
7月21日 15:00	地震（強震）、火災 (ボイラー室)	災害によっては靴を履いて避難する場合もあることを知る。 火災と地震の避難方法の違いを知る。
8月21日 9:40	火災 (事務室)	火災報知機が鳴ったら、保育者の下に集まり、指示に従い避難する。
9月18日 9:30	ミサイル落下・火災 (年少児保育室)	Jアラートと非常ベルの音の違いを知らせ、どのように避難するのか教える。 第2避難場所までの経路を確認
10月19日 10:00	防火防災総合訓練 地震（強震） 火災（休憩室）	地震の基本的行動後、火災が起きた場合の行動を知る。 総合訓練で防火について学ぶ。

月日	想定	ねらい
11月19日 17:00	風水害、火災 (未満児保育室)	いろいろな災害があることに気づき、その都度、避難方法の違いを知る。
12月21日 12:00	火災 (休憩室)	避難行動の慣れによる油断のないように気をつける。
1月15日 10:00	不審者侵入 防犯訓練	避難行動を各自しっかり身につける。
1月22日 10:50	ミサイル落下、火災 (事務室屋根)	Jアラートと非常ベルの音の違いを知らせ、どのように避難するのか教える。
2月19日 15:20	火災 (年少保育室)	降雪時に避難する場合の注意点を知る。
3月15日 9:50	火災 (給食室)	「おかしもの約束」を確認する。 一年間を振り返る。

※消防設備点検、年2回<(有)津軽防災設備>消防署への届け出有り

◇令和2年度主な行事

月日	行事名	月日	行事名	月日	行事名
4月1日	入園式 進級式	5月1日	こどもの日の集い	5月8日	赤十字集会
5月22日	防火防災総合訓練	5月30日	自由参観	6月1日, 2日	自由参観
6月5日	野外保育(園内活動)	6月10日	女鹿沢小学校体験(中止)	6月12日	防犯訓練
7月1日	交通安全教室	7月7日	七夕の集い	7月11日	夏祭り(中止)
8月1日	タイムカプセル開封 (延期となった22年度)	8月5日	年長児園外活動(延期)	9月5日	運動会(前日の雨により小学校体育館で開催)
9月23日~25日	自由参観	9月29日	交通安全の呼び掛け	10月1日	十五夜の集い
10月2日	お楽しみ会(夏祭りの代替)	10月3日	年長児園内活動・夕食会	10月12日~16日	赤十字週間
10月19日	防火防災総合訓練	10月25日	幼児音体フェスティバル	10月31日	焼いも会(年長児希望保護者)
11月5日	障害者啓発事業 (手話・盲導犬)	11月6日	青森テレビ食育推進事業 (テレビ放映)	11月12日	自由参観 給食試食会(中止)
11月13日	七五三参拝	11月14日	自由参観	11月20日	勤労感謝職場訪問
12月5日	遊戯会(入場制限2部開催)	12月11日	青森テレビ食育推進事業	12月23日	クリスマス会
12月25日	餅つき会(年長児希望保護者)	1月13日	昔っこ交流会	1月15日	防犯訓練
2月2日	節分の集い	2月16日	市民図書館おはなし会	3月3日	ひな祭りの集い
3月6日	未満児保育参観 次年度説明	3月8日~ 12日	年長児自由参観	3月13日	以上児保育参観・次年度説明 タイムカプセル開封(23年度)
3月24日	お別れ会	3月27日	卒園式	3月31日	終了式

※学研科学教室 5月14日 7月22日 9月23日 11月18日 1月20日 3月10日

※音研和太鼓指導 5月21日・6月25日・7月20日・8月24日・9月18日・10月6日・1月26日・3月2日

※誕生会・身体測定(毎月)

※子育て支援(園行事への参加、絵本読み聞かせ、同年齢遊び等)毎月開催(感染症予防のため冬季中止)

※スイミングスクール(弘前ヤクルトスイミング)月2回

○特別保育事業

◇延長保育促進事業

目的・効果 ◎就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要が増加傾向にあり、保護者の就労、通勤時間などに応じて、保育時間を心配することなく、安心して勤務や通勤のできる環境が出来た。

事業概要

区分	延長時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用人数 標準	1時間	49	57	69	68	45	64	67	69	81	70	75	90	804
	2時間	6	3	1	3	1	1	1	1	2	1	3	2	25

◇一時預かり事業(一般型)

目的・効果 ◎継続的短時間就労、職業訓練や保護者の傷病・出産・看護・冠婚葬祭・育児等による心理的、肉体的負担を解消するため等で、一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を一時的に預かることで地域や保護者のニーズに応えることが出来た。

事業概要

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 延べ 利用 人数
延べ 利用 人数	4時間未満	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	
	4時間以上	5	8	4	5	8	6	3	7	7	6	6	5	
	計	5	8	4	5	9	6	3.5	7	7	6	6	5	

◇一時預かり事業(幼稚園型)

目的・効果 ◎一号認定子どもが教育時間終了後、様々な状況により家庭での保育が困難になった場合に一時的に預かることで保護者のニーズに応えることができた。

事業概要

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平日	0	0	0	17	13	18	22	16	19	14	34	45	198
休日	0	0	0	4	1	0	5	1	1	01	2	30	15
延長(2日)	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	2	0	8

◇休日保育事業

目的・効果 ◎保護者の就労形態の多様化に伴う日曜祝日等の保育に欠ける児童への対応が可能となり、急用等にも対応でき、保護者が安心して勤務や用事が済ませられる環境が出来た。

事業概要

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
実施日数	0日	3日	1日	1日	3日	2日	2日	3日	0日	1日	3日	1日	20日
延べ利用数	0人	3人	1人	2人	4人	4人	2人	3人	0人	1人	5人	1人	26人

○その他

◇学童保育(1年生～6年生) 自主事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	102	154	245	163	127	146	160	141	108	91	117	121	1675

◇保育実習生等の受入

8月17日～31日（13日間） 東北女子短期大学 保育実習2年 2名

9月16日～25日（7日間） 東北女子短期大学 保育実習1年 1名

◇アンケートの実施

- ・給食試食アンケート
- ・浪岡若葉こども園評価アンケート

《こども園 瑞穂》

＜教育・保育方針＞

1. 健康な心身を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
2. 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、相手を思いやる心や自立心を育て、人と関わる力を養う。
3. 周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れて行こうとする力を養う。
4. 経験したことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲などを育て言葉に対する感覚を養う。
5. 感じたことや考えたことを自分なりに放言することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

○児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	5	6	6	6	7	7	8	8	8	9	9	10	89
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	143
2歳児	14	14	13	11	11	10	10	10	9	9	9	9	129
満3歳 (1号)			2	4	4	4	4	4	5	6	6	6	45
3歳児	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	2号	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2号	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	191
5歳児	1号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	2号	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
計	1号	5	5	7	9	9	9	9	10	11	11	11	60
	2,3号	77	78	77	75	76	75	76	76	75	76	75	912

○健康管理

- ・健康診断

歯科健診	なみおか歯科矯正・小児歯科<柿崎 寛>	4月15日	10月8日
内科検診	田原小児科内科医院 <田原 悌>	4月16日	10月16日

- ・発育測定 毎月実施・記録・カウプ指数の算出
- ・感染症の予防、早期発見の取り組みより、まん延することを防ぐことはできた。
- ・園児ひとり一人の発育発達の個人差に留意し、健康な生活習慣を身につけ、成長できるように取り組んだ。

・薬剤師による環境検査

6月24日：給食施設簡易検査（水質：適）（食器洗浄：不適）（大腸菌群：無）

※ 対応＝洗い方等を工夫して行う。

6月30日：照度検査（良好な照度を確保している）

7月20日：ダニアレルゲン検査（陰性で良好な環境）

10月27日：照度検査（良好な照度を確保している）

2月16日：空気検査（気流が無く、換気が必要である） 対応＝こまめに換気を行う。

○栄養管理

- ・日常の献立作成の栄養管理、荷重平均食料等、パソコンソフトによる給食事務
- ・両園の栄養士による協議
- ・家庭との連携の取れた無理のない離乳が進められた。
- ・アレルギー児童に対しては、それぞれの子どもに対応し、代替食・除去食を行う。
- ・食育計画を立て、保育教諭と給食担当者が連携を取り、協力しながら進めた。
- ・毎月、給食会議で状況を報告し協議を行い、次の月に活かし目標に繋げた。

○安全管理

- ・生活安全指導

月	実施状況
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育室や園内の生活の仕方を知る。 ◎休日や園外での生活の仕方を知る。 ◎交通安全について学ぶ。 ◎日常生活での危険、防犯対策を知る。 ◎水遊びの約束を守り、安全に遊ぶ。
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ◎水分補給を十分に行い、夏の過ごし方を知る ◎車の危険性について学び、交通ルールをしっかりと守る。 ◎雨の日の歩き方、傘の使い方を知る。 ◎遊びの中でルールを守り、安全に楽しく遊ぶ。 ◎手洗いうがいを行い、感染予防に努める。
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ◎雪遊びでの危険について知らせ、安全に遊ぶ。 ◎園内・園外の生活の仕方を再確認し、安全に生活する。 ◎交通安全について再確認し、冬道の歩き方を学ぶ。

- ・交通指導員による交通安全教室＜8月11日＞

◇避難訓練

月日	想定	実施状況
4月17日	火災	○驚く子もいたが、緊張感を持って参加していた。
5月18日	火災（総合訓練）	○合図を聞き、担任の下に集まり、落ち着いて避難をした。新入園児も落ち着いてできた。
6月18日	地震（強震）	○防災頭巾を被り、机やテーブルの下に静かに避難できた。
7月17日	火災	○煙を吸わないようハンカチ等を口に当て誘導に従い落ち着いて避難した。
8月19日	火災	○合図を聞き、保育教諭の指示に従って3つの約束を守り行動した。
9月18日	地震（弱震）	○防災頭巾を被り、誘導により安全なところに身を隠した。
10月16日	火災（総合訓練）	○指示に従い避難できた。職員の消火訓練を見て、日の怖さを実感することができた。

月日	想定	実施状況
11月18日	火災	○指示に従い、落ち着いて避難できた。ベルの音に驚いた子もいた。
12月18日	火災	○近くの家火災を想定して行い、子ども達にもいろいろな時の避難を知らせた。
1月18日	火災	○雪によって転び園児もなく、スムーズの避難できた。
2月18日	火災	○避難行動もしっかりし、緊張感を持って行動できた。
3月18日	火災	○担任の誘導に従い「おはしも」の約束を守り、落ち着いて避難できた。

※消防設備点検、年2回<(有)津軽防災設備>消防署への届け出有り

◇防犯訓練 ・6月24日(園内)

◇令和2年度 主な行事

月日	行事名	月日	行事名	月日	行事名
4月4日	入園式(中止)	5月1日	こどもの日の集い	4月27日	浪岡桜祭り(中止)
5月9日	赤十字集会	5月18日	防火防災総合訓練	6月6日	保育参観(中止)
6月11日	野外保育(中止)	6月24日	防犯訓練	7月7日	七夕の集い
8月1日	ちびっこ祭り(中止)	8月5日	じゃがいも掘り	8月6日	お祭りごっこ(園児のみ)
8月18日	北畠祭り(中止)	8月25日	年長児バス遠足(中止)	9月12日	運動会(浪岡体育館)
10月1日	十五夜の集い	10月7日	野外保育(アップルヒル)	10月16日	防火防災総合訓練
10月25日	幼児音体フェスティバル	11月5日	市民図書館「おはなし会」	11月12日	焼きいも(園児のみ)
11月13日	七五三参拝(年長)	11月16日・ 17日・19日	フリー保育参観	11月20日	勤労感謝訪問 <青森南警察署>(中止)
12月12日	お遊戯会(以上児)	12月24日	クリスマス会	1月8日	餅つき会(園児のみ)
2月2日	節分の集い	2月6日	年長児親子そり遊び	3月3日	雛祭りの集い
3月20日	お別れ会	3月27日	卒園式(人数制限)	3月27日	タイムカプセル開封 (H22年度・23年度)
3月31日	修了式				

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、学童保育の制限、行事の延期や中止、など様々な対策を取り、事業を行った。

◇子育て支援事業

・子育て支援広報：6回発行 ※広報支援は行ったが、活動の実施は行わなかった。

◇ボランティアの受け入れ

浪岡中学校ボランティア部 毎月2回程度土曜日に受け入れる。(玄関掃除、絵本の整理等)

◇実習・インターシップ・職業体験等の受け入れ

- ・教育実習：東北女子短期大学(2年) 3名
- ・保育実習：青森中央短期大学(2年) 1名
- ・保育実習：仙台子ども専門学校(2年) 2名
- ・インターンシップ：浪岡高校 2名

○特別保育事業

◇延長保育促進事業（保育担時間）

- ・保育短時間の認定を受けている児童が保護者の急な残業等に対応できることを目的に実施し、保護者が安心して勤務できる環境ができた。

区分	延長時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用人数	1時間	10	0	14	13	14	14	14	19	18	18	0	0	134
	2時間	4	0	10	10	13	2	12	5	2	4	0	0	62

◇延長保育促進事業（標準時間）

- ・就労形態の多様化、通勤時間の増加等による延長保育に対する需要が増加傾向にあり、保護者の就労、通勤時間などに応じて、保育時間を心配することなく、安心して勤務や通勤のできる環境が出来た。

区分	延長時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用人数	1時間	130	131	190	194	186	229	272	180	203	180	187	213	2295
	2時間	5	9	17	19	17	24	21	11	13	6	2	6	150

◇一時預かり事業＜幼稚園型・一般型＞

- ・幼稚園型：一斉認定子どもが教育時間終了後、様々な状況により家庭での保育が困難となった場合に一時的に預かる。
- ・一般型：継続的短時間就労、職業訓練や保護者の傷病・出産・看護・冠婚葬祭・育児等による心理的、肉体的負担を解消するため等で、一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を一時的に預かることで地域や保護者のニーズに応えることが出来た。

幼稚園型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用数（基本分）	40	35	64	100	81	98	104	102	109	74	88	112	1007
延べ利用数（休日分）	0	2	8	10	10	10	14	8	8	6	7	5	88
長期休業日	0	0	0	0	3	0	0	0	0	8	0	0	11
長時間加算	0	0	1	1	7	3	5	0	0	8	0	0	25

一般型		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間延べ利用人数
延べ利用人数	4時間未満	10	10	0	0	0	6	10	11	7	0	0	0	
	4時間以上	5	2	1	2	1	6	4	7	0	0	0	0	
	計	10	7	1	2	1	9	9	12.5	3.5	0	0	0	55

◇休日保育利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
実施日数	4日	7日	3日	5日	6日	6日	4日	7日	5日	4日	4日	4日	59日
延べ利用数	8人	15人	3人	12人	11人	8人	9人	15人	10人	4人	4人	5人	104人

◇学童保育（自主事業として）

- ・地域に開かれた保育園として、専門的な役割を提供しながら積極的に地域の児童を受け入れ、保護者の就労に配慮した対応、地域のニーズに合わせた活動を行う。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1～3年利用延べ数	0	0	165	250	147	191	231	191	162	120	148	156	1761人
4～6年利用延べ数	0	0	31	127	56	100	99	93	68	64	69	76	786人

※新型コロナウイルス感染防止のため、制限を掛けながら実施

《病児保育事業》

青森市病児一時事業（委託事業）

委託期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日

◇利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	2人	0人	3人	0人	0人	0人	2人	3人	1人	2人	0人	0人	13人

利用児童の主な病名

- ・上気道炎
- ・アデノウイルス感染症
- ・扁桃炎
- ・急性扁桃炎
- ・急性上気道炎

※ 補則すべき重要事項はないので、附属明細書の作成はしていません。